



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月24日

上場会社名 三菱鉛筆株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	40,956	9.7	6,432	49.2	7,665	64.9	4,718	72.5
24年12月期第3四半期	37,351	△1.4	4,310	△8.6	4,649	△2.7	2,735	△8.3

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 7,559百万円 (157.4%) 24年12月期第3四半期 2,936百万円 (13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	162.67	—
24年12月期第3四半期	94.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	77,600	57,933	73.4	1,964.14
24年12月期	70,027	51,179	71.9	1,736.52

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 56,978百万円 24年12月期 50,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	12.50	—	13.50	26.00
25年12月期	—	13.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

24年期末配当金13円50銭は、「ポスカ」発売30年記念配当金1円を含んでおります。

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	7.7	7,500	22.5	9,000	37.9	5,400	38.5	186.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	32,143,146株	24年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	3,133,978株	24年12月期	3,140,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	29,004,755株	24年12月期3Q	29,007,103株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）のわが国経済は、昨年末からの円安・株高の進行に伴う企業収益の改善に加え、海外経済の持ち直しを受けた輸出にも回復の基調が見られ、緩やかながらも景気回復の兆しがみられました。一方で、円安に伴う原材料価格の上昇や、平成26年春の消費税増税による個人消費の低迷による景気の腰折れリスクも懸念され、国内外を取り巻く経済環境は依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループが属しております筆記具の業界におきましても、景気回復への期待感を背景とした消費マインドの改善、さらには輸出環境の好転も相俟って今後の見通しに薄日が差し始めてきたと期待できる好材料が揃ってまいりましたが、同時に市場競争も激しさを増しており、お客様の品質、価格に対する選別の目は一層厳しくなっております。

このような経営環境の中、当社グループは、「最高の品質こそ最大のサービス」の社是のもと、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。販売活動におきましては、「ジェットストリーム」や「クルトガ」、「スタイルフィット」といった主力商品の拡販に注力する一方で、ポスターカラーマーカー「ポスカ」の発売30年企画『ポスカ・ソーシャルミュージアム』をウェブ上に開設して、「描くことの楽しさ」を改めて訴求することを通じて新たな顧客層の開拓に挑んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は409億56百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は64億32百万円（前年同期比49.2%増）、経常利益は76億65百万円（前年同期比64.9%増）、四半期純利益は47億18百万円（前年同期比72.5%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、主力商品の販売が堅調に推移した事に加え、為替環境にも恵まれ、この結果外部顧客への売上高は389億9百万円（前年同期比10.3%増）となりました。また、その他の事業は、主として手工芸品事業が厳しい市場環境にさらされ、この結果外部顧客への売上高は20億46百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて75億72百万円増加し776億円となりました。これは主として現金及び預金が35億35百万円、たな卸資産が11億81百万円、投資有価証券が25億39百万円それぞれ増加したことによります。

負債は、前連結会計年年度末に比べて8億18百万円増加し196億66百万円となりました。これは主として固定負債が9億36百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて67億53百万円増加し579億33百万円となりました。これは主として利益剰余金が39億44百万円、その他有価証券評価差額金が17億9百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関しましては、第3四半期連結累計期間の連結業績及び最近の業績動向を踏まえて平成25年2月15日に公表した当初予想を本日修正しました。詳しくは、本日発表の「業務予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

（4）追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,368	25,904
受取手形及び売掛金	13,546	13,612
たな卸資産	11,744	12,925
その他	1,935	2,236
貸倒引当金	△113	△137
流動資産合計	49,481	54,540
固定資産		
有形固定資産	11,591	11,577
無形固定資産	134	146
投資その他の資産		
投資有価証券	7,012	9,551
その他	1,811	1,784
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	8,819	11,335
固定資産合計	20,546	23,059
資産合計	70,027	77,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,139	7,350
短期借入金	1,461	1,318
未払法人税等	1,508	1,253
賞与引当金	410	1,012
返品引当金	60	71
その他	4,198	3,653
流動負債合計	14,778	14,660
固定負債		
長期借入金	5	3
退職給付引当金	2,575	2,483
役員退職慰労引当金	721	796
環境対策引当金	29	28
負ののれん	82	32
その他	655	1,661
固定負債合計	4,069	5,005
負債合計	18,848	19,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	44,438	48,382
自己株式	△3,314	△3,311
株主資本合計	49,204	53,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,659	3,368
繰延ヘッジ損益	△33	5
為替換算調整勘定	△466	451
その他の包括利益累計額合計	1,159	3,825
少数株主持分	815	955
純資産合計	51,179	57,933
負債純資産合計	70,027	77,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	37,351	40,956
売上原価	19,965	20,720
売上総利益	17,386	20,235
販売費及び一般管理費	13,075	13,803
営業利益	4,310	6,432
営業外収益		
受取利息	19	18
受取配当金	94	113
受取地代家賃	105	106
負ののれん償却額	49	49
持分法による投資利益	16	17
為替差益	54	877
その他	96	144
営業外収益合計	436	1,327
営業外費用		
支払利息	9	10
シンジケートローン手数料	36	36
売上割引	20	22
その他	31	23
営業外費用合計	97	93
経常利益	4,649	7,665
特別利益		
固定資産売却益	3	5
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産除売却損	28	17
減損損失	33	—
関係会社株式売却損	—	23
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	147	198
会員権評価損	12	—
役員退職慰労金	1	—
代理店契約解約損	100	26
厚生年金基金脱退一時金	3	—
特別損失合計	325	265
税金等調整前四半期純利益	4,326	7,406
法人税等	1,523	2,562
少数株主損益調整前四半期純利益	2,802	4,844
少数株主利益	67	125
四半期純利益	2,735	4,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,802	4,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	1,702
繰延ヘッジ損益	1	38
為替換算調整勘定	19	966
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	6
その他の包括利益合計	133	2,714
四半期包括利益	2,936	7,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,858	7,384
少数株主に係る四半期包括利益	78	174

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	35,293	2,057	37,351	—	37,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	31	40	△40	—
計	35,302	2,089	37,391	△40	37,351
セグメント利益	4,238	51	4,290	20	4,310

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

筆記具及び筆記具周辺商品事業セグメントにおいて、売却が決定した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（33百万円）として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	38,909	2,046	40,956	—	40,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	15	36	△36	—
計	38,930	2,061	40,992	△36	40,956
セグメント利益	6,340	74	6,415	16	6,432

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。